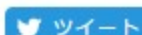


最低賃金、2年連続3%上げへ 平均848円、25円増

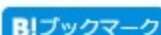
村上晃一 2017年7月26日00時41分



177



list



11



メール



印刷



最低賃金の引き上げ額の目安について議論する厚生労働省の中央最低賃金審議会の小委員会 = 25日午後3時、東京都中野区



[PR]

2017年度の最低賃金（時給）の引き上げ額について、厚生労働省の中央最低賃金審議会の小委員会は25日夜、全国の加重平均で25円上げるべきだとの目安をまとめた。目安額としては比較できる02年度以降で最大の引き上げで、実現すれば全国平均は848円になる。引き上げ率は「3%」。2年連続で安倍政権の目標通りに決着した。

賃上げで景気浮揚を狙う安倍政権は「1億総活躍プラン」で、最低賃金を毎年3%引き上げて全国平均1千円とする目標を掲げた。16年度は目標通りの「3%」を実現。3月にまとまった「働き方改革 実行計画」にも同様の目標を明記し、17年度も政権の意向に沿って高い上げ幅を確保した。

最低賃金は、企業が働き手に支払わないといけない最低限の賃金。労使の代表と、大学教授ら公益委員で議論して毎年見直し、引き上げ額の目安を示す。

物価や所得水準などの指標をもとに都道府県をA～Dの4ランクに分け、ランクご

とに目安額が提示された。東京など大都市部のAランクは26円。Bは25円、Cは24円、Dは22円。この目安を参考に都道府県ごとに引き上げ額を決め、秋以降に順次改定される。（村上晃一）